



空き巣強盗に注意してください 行楽シーズンの落とし穴は塞(ふさ)ぎましょう

ゴールデンウィークは終わりましたが、これから梅雨入りまでは気候が穏やかで行楽シーズンが続きます。日帰りや一泊での家族旅行、お子さん/お孫さんの学校での催事などで家を空けられる機会が増えますので、その分、空き巣に狙われる可能性も高まりますので、是非注意をお願いします。

不在宅の目印がばれないよう注意しましょう

しばらく家を空ける場合、以下のようなことで容易に不在の状態が分かってしまいます。

- 普段はある自家用車が終日観られない(家主が旅行中であることが容易に推察)
- 日中に生活音(テレビ・人声・トイレの排水音など)が聴こえない
- 夜間でも屋内の照明が消えている(点いていない)
- カーテンが終日閉められている
- 新聞/郵便受けに新聞や郵便物が溜まった状態
- 繰り返し電話が鳴っている(誰も出ない)



上記の内容に複数該当する場合、犯罪者は家に誰もいないことを察しますので、できるだけ下記のような事前の対策を講じてから外出をしましょう。

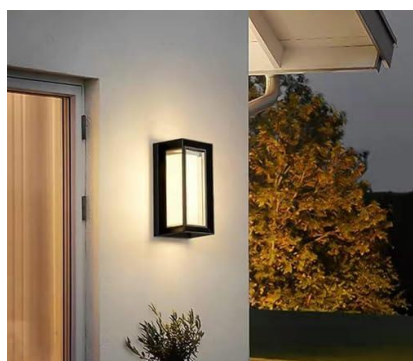
- 屋内各室の補助照明を点けておく
- 玄関先照明は夜間自動点灯モードにしておく
- 2日以上不在の場合は必ず新聞配達留置きを依頼しておく

● 普段から交流があるお隣さんに不在の旨を伝えておく

● 屋内設置電話は留守電モードに

これ以外にも、

雨戸を確実に閉めておく、玄関や窓の鍵は2個以上(ツーロック)、さらに、ガラス窓穴あけによる開錠防止のため、窓鍵の補助錠を確実に下ろしておくことを励行してください。



補助照明や豆電球ライトを点けっぱなしにしておきましょう。

外部から動かせないように補助錠(ストッパー)を下ろしておきましょう



防犯ガラスの場合
ドライバーの先で小さな穴を開けて

TOKYO-MX 画像を引用。

防犯情報しょうなん-行楽シーズン号外版